

《履修上の留意事項》【遠隔授業のみ実施】

《担当者名》○真島 理恵 河合 祐子

【概 要】

人間は社会的動物である。家族を最小単位とする集団内での人々の相互作用が社会を生みだし、また一方、人間の社会的判断・行動の性質は社会を適応環境として、他者との相互作用の中でうまく機能するかたちで獲得されてきたと考えられている。この講義では、人間の備える社会的認知や判断、行動の性質について学び、人間行動や社会現象を科学的視点から捉えることができるようになることを目的とする。

【学習目標】

対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程を説明できる。

人の態度及び行動についてさまざまな理論を用いて説明できる。

家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響について概説できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	社会心理学とは 対人魅力	社会心理学の研究領域と目的について理解する。 対人魅力の形成要因について理解する。	真島 理恵
2	社会的認知（１）	印象形成のメカニズムとバイアスについて理解する。	真島 理恵
3	社会的認知（２）	ステレオタイプの影響と対人行動について理解する。	真島 理恵
4	社会的推論	原因帰属の種類とバイアスについて理解する。	真島 理恵
5	自己	自尊心の維持・高揚メカニズムと認知バイアスの関係について理解する。	真島 理恵
6	集団	集団所属性が認知・行動に与える影響や集団内過程・集団間葛藤について理解する。	真島 理恵
7	文化	心の文化差とその基盤について理解する。	真島 理恵
8	態度変容と社会的影響（１）	他者の存在が与える影響について理解する。	真島 理恵
9	態度変容と社会的影響（２）	合理化による態度変容について理解する。	真島 理恵
10	態度変容と社会的影響（３）	態度変容をもたらすメカニズム、および説得テクニックについて理解する。	真島 理恵
11	社会の変化と家族の変化	家族の概念とその変化を理解する。	河合 祐子
12	家族の形態・機能	家族の形態・機能を理解する。	河合 祐子
13	家族内の人間関係	家族システムという視点、家族療法について理解する。	河合 祐子
14	家族ライフサイクル	家族ライフサイクルについて、各段階の特徴を理解する。	河合 祐子
15	家族および文化の個人への影響	個人に及ぼす家族や文化の影響を理解する。	河合 祐子

【評価方法】

授業内で課す課題の成績、及び小テストの回答提出によって評価する。

【備 考】

教科書：なし。資料を配布する。

参考書：亀田達也・村田光二 複雑さに挑む社会心理学：適応エージェントとしての人間 改訂版 有斐閣（2010）
北村英哉・大坪庸介 進化と感情から解き明かす社会心理学 有斐閣（2012）
岡本浩一 社会心理学ショート・ショート：実験でとく心の謎 新曜社（1986）

その他：すべての回に出席することを前提に講義を進める。授業を欠席した場合には、各自の責任において、配布資料や課題内容等を確認し、必要な対応をとること。
この講義は心理科学部臨床心理学科の研究協力者プール・クレジットシステムを使用するため、様々な研究への参

加・協力に応じて、5%を上限として最終評価への加点が行われる可能性がある(詳細については初回講義にて説明)。

【学習の準備】

授業前に前回の講義資料を精読し、内容を十分に理解しておくこと。(80分)

授業終了後、講義資料及びノートを見直し、学習内容を整理し理解を深めること。「資料を見ずに内容を他者に説明できる」ことを目標に復習を繰り返すこと。(80分)

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

心の問題にかかわる職業人として必要な幅広い教養と専門的知識を修得するという、心理科学部のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

河合祐子（公認心理師）

【実務経験を活かした教育内容】

家族支援の心理臨床経験を反映させた内容を提示し、理解を深める。